

砂糖玉レメディのケース 3 選

土橋 晃子 (日本ホメオパシーセンター 東京総本部)
JPHMA 認定ホメオパス No.0925
ZEN メソッド修得認定 No.0325
JPHF 認定インナーチャイルドセラピスト No.0341

① 地震のケース【Ars】

能登半島地震震度 5 強にて

- (75 才女性) 恐怖に叫ぶ、心臓がドキドキ不安。キットより Acon 30C とるが変化なし。「死ぬかと思うほどの恐怖」の状態に合う Ars 30C で回復。落ち着いて割れたお皿の片付けを始める。
- (11 歳女兒) 恐怖に叫ぶ、泣く。Acon 30C とるが変化なし。「死ぬかと思うほどの恐怖」の状態に合う Ars 30C で回復。いつも通り楽しく Youtube 動画を見始める。

考察: サポート AAA (Acon, Arn, Ars のコンビネーション) のレメディが手元に無く、マイクロキットからの対処。二人は祖母と孫の関係で体質的に似ていた。余震が何度も続いた為、Ars が神経質で不安な状態に合ったようだ。

② 腸に穴のケース【サポート免疫スーパーグレート, サポート腸, Arn】

高齢女性 腸に穴が開き入院。 コロナワクチン接種 3 回済み。
医者には「もう無理だろう」と言われている。
液体レメディがとれない為、砂糖玉レメディをご希望。

サポート免疫スーパーグレート, サポート腸, Arn30C をとる。
次の日には腸液が止まり、回復基調に。
その後、ホメチューブで示唆されたカレンデュラとエキネシアのマザーチンクチャーをとり、1 年と言われていた入院を 4 カ月で退院。

考察：「命拾いした」との事。ホメオパシーレメディィーによく反応する体質も功を奏したのかもしれない。

③ 熱中症のケース【Puls】

50代女性 炎天下で遺跡巡りを3時間歩き回る。バスに戻ると頭がボーっとして気分が悪くなる。

Puls 30C をとると鼻水が出た後に回復。

考察：日射病となると真っ先に Bell が思い浮かぶが、このケースでは新鮮な空気を吸えない室内＝バスの中に戻ってから悪化している為、Puls が良かった。

まとめ

砂糖玉レメディィーは困った時にセルフケアで大変役に立つのでマイクロキット等をいつでもカバンに忍ばせて置くことをおすすめします。命が救われる可能性もあります。どのレメディィーか迷っても、キットから色々と安全に試してみる事が出来ます。緊急にホメオパスの助けが必要な時はホメチューブも活用して頂けたらと思います。

相談会のお申込みはこちらへ：

2025年1月開設 日本ホメオパシーセンター文京関口